

PDCAチェックシート

実施年度	令和 7 年度		
事務事業名	生活保護扶助事業	担当課名	福祉課
【Plan】計画	【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善
■目的 被保護世帯を経済的自立に繋げるには、CWが担当世帯ごとに、被保護者が解決したい課題の解決に向けた具体的な「援助方針」と自立に向けた目標を定める必要がある。それらを組織的に判断・決定することで1日も早く保護から脱却できるよう適切な支援を行っていく。 ■成果指標(アウトカム・KPI) ※ 【目標値】 ・経済的自立世帯 3世帯 【達成値(R7実績値)】 ・経済的自立世帯 5世帯	■具体的取組 訪問調査等で得た情報をもとに、ケース診断会議に諮り被保護者への年度の援助方針等を策定するとともに、被保護者の自立の助長に向け、被保護者と課題と目標を共有し自立に向けた意欲を高める。CWIは策定した「援助方針」等をもとに生活指導、就労支援や関係機関との連携を図りながら早期自立に繋げる支援を実施していく。 ■インプット(投入金額等) 事業費等 生活保護事業(扶助費等) 316,200千円 ■アウトプット(数量等) 実施回数等 保護の実施について、41件のケースについてケース会議等を開催し、支援内容について組織的判断を実施した。	■成果指標の具体的検証結果 (インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載) 訪問調査によって把握した被保護者の生活状況等を踏まえ、個々の自立に向けた課題を分析し、課題に応じた具体的な「援助方針」を策定し支援を実施できた。 稼働能力があり経済的自立が見込める者には、社協の就労支援事業の利用を促し、就労後の定着支援を実施することで目標を上回る5世帯が経済的自立となった。	■検証結果を受けての具体的対応 被保護者の中には、当初立てた目標(就労先の決定、健康状態の回復など)に向けて行動ができていない世帯もあり、今後は原因を分析し、新たな支援策や援助方針に修正し目標達成を目指す。 ■評価 現状維持

※KPI … 重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。